

石川小学校だより

創立10周年を迎える、地域と共に新たな一步を！



# Sekishou 通信



R7・1.10  
NO. 25  
文責：校長 酒



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

## ☆☆2025年のスタート、本年もよろしくお願ひします。☆☆

明けましておめでとうございます。

例年ないあたたかさの中での新年となりましたが、日本海側は変わらずの大雪。更に、昨年の正月の能登地震の復興が思うように進んでいないことを考えると、諸手を挙げては喜べない気持ちです。

3学期が始まりました。先日久しぶりに全校生が一堂に会し始業式を行いました。インフルエンザ等の感染症はまだ予断を許さない状況にありますので、当日は全員マスク着用を義務づけての開催でしたが、マスク越しの表情はとても柔らかく、和やかなスタートとなりました。

さて、今年は巳年、6年生の一部と5年生の大部分が年男・年女となります。子どもたちも蛇にあやかり、脱皮を繰り返し新しい自分に出会えるよう、臨機応変、しなやかに突き進む1年としたいと思います。

3学期はあっという間の49日間（もうすでに何日か経ってしまいました）。6年生は3か月後には中学校に進学し、他の学年もそれに次の学年に進級しますから、これまでの学期に比べると中身(巳)のギュッと詰まった3学期となりますので、その分、ヘビー(蛇)な学期となりそうですが、諦めることなく、とにかく最後までやりきることが大事かな(大蛇かな)と考えます。（ちょっとふざけましたが正月なのでご勘弁ください。）

2025年も目指す児童像は「失敗も学びに変える、たくましい児童」です。経験値を高めるために失敗はつきものですから、本気で取り組む中での失敗は大歓迎。どんどん「失敗させて」「励まして」「褒めて」「考え方」「挑戦させる」。時に「寄り添い」「見守り」「突き放し」ながら、子ども一人一人の成長を認めることを通して、たくましく育てていきたいと考えています。根気強く、粘り強く…。

始業式では、全校生にそんな思いを少しだけ伝えました。（裏面をご覧ください）

本年も宜しくお願ひします。

## ☆うれしいたよりが…☆

元日の午後、敷地内の見回りをするため学校へ。

すでに教頭先生が午前中に確認していた形勢があり、校長室のデスクの上には郵便物がきれいに積まれていました。一つ一つ確認すると・・・、発見！年賀状です。

宛名もちゃんと直筆で書かれた7枚の年賀状、ひっくり返すとこれまたうれしいメッセージやイラストがぎっしり。大幅な値上がりで1枚85円となった年賀はがきですが、金額以上に価値のある1枚となりました。

心がほっこりする、2025年のスタートでした。

インフルエンザ、コロナウイルス、マイコプラズマの感染が心配です。今のところ爆発的ではないですが、少しずつ増えている現状です。学校では、場面によってのマスクの着用と手洗いの徹底を呼びかけています。ご家庭でも引き続きのご協力をお願いします。



## 令和6年度第3学期始業式式辞（巳年にあやかって）原稿

令和7年1月8日



あいさつをしましょう。新年ですから…明けましておめでとうございます。

令和7年、2025年がスタートしました。みなさんはどんなお正月でしたか？去年は、この場所で能登半島地震のお話をしました。あれから1年、ずっと心配に思っていた子ども達もいたと思います。まだ、完全に元通りにはなっていませんが、みんな気にかけることはとても大切です。

さて、昔から「一年の計は元旦にあり」と言われています。これはね、戦国武将の毛利元就さんの言葉とされていますが、「何事も最初が肝心」という戒めの言葉です。元旦は過ぎてしましましたが、今日は学校が始まる最初の日ですから、皆さんもしっかりと目標を決めるなどを勧めます。もう決めたかな？

今年は巳年ですね。十二支の中の6番目になります。ちなみに十二支は言えますか？ちょっと唱えてみましょう。（全校生で確認する）学校では、6年生の早生まれ、1～3月生まれの子ども達と、5年生の大部分の子ども達が「巳年、生まれになります。漢字では、こんな字になります。（手作りの凧）を示す形が蛇に似ているから、この字をあてたとも言われています。

蛇というとあまり良いイメージを持たない人も多いと思いますが、実はとても縁起が良い、めでたいものとされています。それは、あまり餌を食べなくても生きられるので「神様の使い」とされたり、何度も脱皮を繰り返すので「復活と再生のシンボル」とされたりします。蛇が脱皮（古い皮を脱ぎ捨てて、新しくなる）をするのは良く知られていますが、さて1年に何回くらい脱皮をするのでしょうか？ちょっと調べてみました。クイズにしましょうね。A：1年に1回くらい。B：1年に2回（半年に1回）。C：2か月に1回（1年間に6回）。では手を挙げてみてください…。答えはCです。でもね、これは蛇がたくさん成長している時期で、だんだんと脱皮の回数も減っていくのだそうです。蛇の寿命は約10年とされていますが、脱皮しなくなると蛇は死んでしまいます。

人間にも例えることが出来ます。若いうちは、失敗や挑戦を繰り返し、新しい自分に生まれ変わることが出来ますが、歳を重ねるとなかなかそういう訳にはいきません。小学生のうちは何度も失敗しても構いません。自分が正しいと思うこと、やってみたいと思うことは結果を気にせずに取り組んでください。そして「新しい自分に脱皮する1年にしてほしい」と、校長先生は希望します。そのためにも、初めに話した目標（一年の計）を立てましょうね。

では、最後の恒例となりました凧揚げをして、今年を占ってみましょう。この「巳年」の凧がうまく揚がったら、無病息災いいことがあるかもしれませんね。昨年は教頭先生に持っていた校長先生が綱を引きましたが、今年は年男、年女の5年生に代表して凧を揚げてもらいます。（マラソン大会優勝者の男女一人ずつ指名する）さて、上手く揚がるでしょうか？「さあさあ御立合い…」

※ この後二人による凧揚げが披露されました。結果は…？子どもたちにお聞きください。

皆さんとても真剣な態度で話を聞いてくれましたね。今年もきっとよい年になりますね。校長先生のお話を終わります。

**校長式辞の後は、児童代表の新年の抱負の発表がありました。3学期の代表者は6年生ですが、原稿用紙2枚の内容を堂々とした態度で発表することができました。会場から大きな拍手が起こる大変立派な発表でした。**

おそらくこの時のために何度も練習したのでしょう。

6年生はあと3ヶ月で中学生になります。

